

大学院特別講義のご案内

- ◆ 日時： 2016年12月22日 (木) 16:30~18:00
- ◆ 場所： D棟4階 大講義室
- ◆ 講師： 倉嶋 敏明 先生 (新潟市開業)
- ◆ 演題： 欠損形態の改変と補綴的補完医療の考え方から
『オーラル・フレイル』の予防策；高齢者の食力の維持・向上を目指す

要旨：日本における高齢化は著しく、現在すでに高齢者率26.8%超の「超高齢社会」となっている。そのような社会背景の中では未だ中等度から多数歯欠損症例に対する義歯治療の比率は高い。しかし日常臨床では義歯で補綴治療を行ったとしても対合関係によってはさらなる崩壊への転落を抑制できない場合もあり、可撤性補綴の限界を痛感する場合も少なくない。オーラル・フレイルは進行して口腔機能低下症をもたらす徐々に全身的なフレイルへ至る一因ともなる。そのような進行性病態に歯止めをかけるため、義歯とインプラントの利点が互いに支え合う利用法も一考の価値がある。

従来は固定性補綴を前提として議論されることが多かったインプラント治療だが、近年中等度から多数歯欠損症例に対するインプラントを併用したパーシャルデンチャー(Implant Assisted Removable Partial Denture以下IARPD)に視線が向けられている。

インプラントと義歯の併用について、無歯顎への応用(いわゆるインプラントオーバーデンチャー以下IOD)は周知されているが、天然歯・義歯・インプラントが共存するIARPDについては未だ認知度はそれほど高いとは言えない。しかし臨床現場では難症例への欠損形態改変のため、実際のところIARPDは徐々に積み重ねられているのである。

天然歯・義歯・インプラントの共存での欠損歯列改変を補綴的補完医療と捉え、インプラント治療／補綴治療の幅と超高齢社会でのオーラル・フレイル予防としての応用を考えていきたい。

(問い合わせ先：有床義歯補綴学・高齢者歯科学分野 内線：2954)

※「口の難病」クリニカルセミナーも兼ねます